

第29回地域防災フォーラム

東日本大震災をふまえた 安全・安心な漁業操業について考える － 漁船避難の観点から－

東日本大震災津波発生の際に、漁業者が漁船の流出や損壊を防ぐため、漁港や漁場等から漁船を沖合へ避難する沖出しをしました。一方で、津波来襲時の沖出しは危険が伴う、情報取得が難しいなど、漁船避難について多くの課題があります。

本フォーラムでは、東日本大震災当時の状況、その後の津波対策の取り組みについて紹介し、発生が懸念される日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴う津波からの避難や対策について考えます。



日時：2023年3月8日(水) 13:00～15:00 (開場12:30)

岩手大学・立教大学共同運営交流活動拠点 たかたのゆめキャンパス

場所：陸前高田グローバルキャンパス

(岩手県陸前高田市米崎町字神田113番地10)

参加費：無料 (申込不要)

プログラム

開会あいさつ

第一部：報告 (13:05～14:05)

津波来襲時における岩手県の漁船避難の実態と課題

岩手県農林水産部 阿部幸樹

沖出し避難の危険性と津波に備えた普段からの心がけ

釜石海上保安部交通課 佐藤利明

津波浸水想定図の概説とそのとらえ方～陸前高田を対象として～

岩手大学地域防災研究センター 小笠原敏記

第二部：パネルディスカッション (14:15～15:00)

これから必要となる漁船の津波対策と避難行動について

パネラー：第一部の登壇者

沖出しを経験した漁業者

閉会あいさつ



主催：岩手大学地域防災研究センター 共催：岩手県

お問い合わせ：岩手大学地域防災研究センター 電話：019-621-6448(FAX兼用)